

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせていることを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2022.11
No.24

◆ 2022.10 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)277(18)件のうち、認定は276(17)件、非認定1(1)件でした。

新型コロナウイルス感染症感染拡大のための認定延長は1件でした。

認定の内訳は、完全適合174(10)件、改善指導事項付88(7)件、条件付14(0)件となりました。

完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導事項付(条件付きを含む)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものです。

※申請件数には前回の新型コロナウイルス感染症感染拡大のために延長及び延期件数含

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、
初任者・現任者カリキュラム未作成、
研修項目の欠落、
改善見直し検討の未実施・記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修の受講者欠落、
研修記録未作成、研修記録未保管、
修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(健康管理未整備、
雇い入れ時健康診断・定期健康診断の
受診者欠落、産業医の未専任、
健康診断実施後の措置不適正)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、評価記録の未作成、
評価改善検討未実施・検討結果の未作成)

(2) 業務別

①在宅酸素療法における酸素供給装置の保守
点検業務

酸素ボンベの標準作業書

(定期見直し未実施)

緊急・災害対応体制

(マニュアル項目不足)

②院外滅菌消毒業務

E O G濃度作業環境

(健康診断未実施)

③院内調理患者等給食業務

食材納入関連

(検収項目欠落)

食器管理

(実施記録未作成、病院未確認)

給食業務日誌

(事項欠落)

④院内清掃業務

病院との連絡体制

(記録未作成)

ストレスチェック体制

(未整備、実施報告未提出)

業務案内書

(定期見直し未実施)

標準作業書

(定期見直し未実施)

日常清掃業務以外

(再委託)業務対応(契約書未作成)

受託責任者作業計画指導監督体制

(評価改善指導未実施)

日常清掃定期点検評価等体制

(未整備、病院未報告)

定期清掃定期点検評価等体制

(未整備、評価記録未作成、病院未報告)

薬品使用管理体制

(消毒薬使用記録未作成、

希釈指示記録未作成、施錠管理不適正)

⑤医療用ガス供給設備の保守点検業務

緊急・災害対応体制

(教育・訓練未実施)

医療関連サービスマークの認定について (令和4年10月1日認定分)

業務区分	申請件数		認定			延長 (認定)	非認定	審査継続	認定有効事業者等の 総数 [参考]							
			完全適合	改善指導付等	計											
在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務	20	(0)	16	(0)	4	(0)	20	(0)	0	(0)	0	(0)	184	(184)		
院外滅菌消毒業務 (※)	10	(1)	2	(0)	8	(1)	10	(1)	0	(0)	0	(0)	49	(48)		
寝具類洗濯業務 (※)	16	(0)	11	(0)	5	(0)	16	(0)	0	(0)	0	(0)	250	(250)		
院内調理患者等給食業務	15	(2)	4	(1)	10	(0)	14	(1)	1	(0)	1	(1)	168	(169)		
衛生検査所業務 (※)	10	(2)	10	(2)	0	(0)	10	(2)	0	(0)	0	(0)	111	(109)		
患者搬送業務	1	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(3)		
院内清掃業務	165	(10)	103	(5)	62	(5)	165	(10)	0	(0)	0	(0)	1,426	(1,426)		
医療用ガス供給設備の保守点検業務	33	(2)	24	(1)	9	(1)	33	(2)	0	(0)	0	(0)	247	(245)		
医療機器の保守点検業務	3	(1)	3	(1)	0	(0)	3	(1)	0	(0)	0	(0)	6	(5)		
院内滅菌消毒業務	4	(0)	0	(0)	4	(0)	4	(0)	0	(0)	0	(0)	34	(34)		
院外調理患者等給食業務 (※)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	4	(4)		
計	238	(18)	174	(10)	102	(7)	276	(17)	1	(0)	1	(1)	0	(0)	2,482	(2,477)

注1：上記表の数値は、事業者数(但し、(※)の業務は施設数)

注2：上記表の()内は新規再掲

注3：認定有効事業者等の総数[参考]欄の()内数字は令和4年6月1日付認定有効数

◆ 「Good Job! コーナー」 「こんなに頑張ってます！」

日本メガケア株式会社
在宅医療部在宅医療課長 小島 亜希子



弊社は2005年10月に3社が合併し日本メガケアとなり、今年で18年を迎えます。大陽日酸(株)直系の医療系販売会社として「病院・医療機関」「メーカー」との三位一体の協力体制で医療の現場をサポートしています。医療用酸素をはじめ各種医療用ガスの安定供給はもとより、

高齢化社会が進む中、在宅酸素療法(HOT)等の各種在宅療法のサポートにも力を入れております。「在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務」のサービスマークを取得して以来、認定業者として関東・大阪・宮城を中心とした医療機関・患者様へ安全で優れたサービスの提供を目指し日々活動しています。

在宅酸素療法事業では、在宅酸素療法用の機器や酸素ポンプの設置・配送・点検の他、患者様のQOL向上やニーズにお応えするため、全国的な協

力体制を築く大陽日酸ネットワーク会に所属し、全国各地へのご旅行等のサポートを行っています。在宅酸素療法を行っていらっしゃる患者様の9割以上は酸素濃縮装置をご利用ですが、弊社では液体酸素システム・ヘリオスの取扱もしています。ヘリオスは酸素を貯蔵しておく親容器と携帯用の子器からなるシステムです。子器は約1.6kgと軽量ですが、親器はフル充填で60kg以上ととても重く運搬する従業員には負担が大きいのですが、一人でも多くの患者様に趣味や社会活動の継続・笑顔あふれる日常生活を送っていただけるよう頑張っています。

現在新型コロナウイルスが出現し、3年が経とうとしています。この3年間では自宅療養の患者様が増加し、酸素濃縮装置の供給が逼迫する事態が何度もありましたが、社員一丸となり対応しました。そんなコロナ禍で迎えた当社18期の基本方針は【原点回帰(当たり前のことを実行に移す)謙虚と感謝そして大胆に!】です。今後も当たり前のことを当たり前に行い、謙虚な姿勢と感謝の気持ちを忘れず、医療機関・患者様に安全で優れたサービスの提供を実践すべく精進して参ります。

◆ 医療現場からの声

医療法人社団 光生会 平川病院
事務部長 堀江 順



当院は1966年(昭和41年)7月に病院開設以来、50年以上に渡り東京都八王子市において医療提供を行って参りました。

『患者様の不安を取り除くこと』を理念として病院運営を行なっておりますが、その

理念を掲げるきっかけは、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受験したことに遡ります。単科精神科病院としての認定を、全国で4番目、東京都では最初に取得しております。現在まで5回の認定を継続しており、来年度6回目の認定を頂けるように職員一丸となって日々の業務に取り組んでいます。

病院の機能を少し紹介させていただきます。地域精神科身体合併症救急連携拠点病院の指定を受けております。南多摩医療圏認知症疾患医療センターの運営を行っており、精神科医療、認知症医療を

担う地域の中核病院として機能しています。その他には、東京都の災害拠点精神科連携病院の指定を受けております。

当院では院内清掃やリネン関係などの洗濯業務、医療機器保守点検などを外部委託しておりますが、患者様にとって良い療養環境を提供することを第一に協力をして頂いております。その中でも特に院内清掃を担当している委託事業者の皆様に関しては、日々の診療業務で職員がなかなか気付かない部分について先行して気づいてくれたり、改善の良い提案をしてくれたりと、職員と一緒に病院を良くしていこうという気持ちを感じる委託事業者の皆様です。

新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しない中で、病院職員の負担は増大しておりますが、各委託事業者の皆様と一緒に協力をお願いしている事により、入院診療、外来診療が円滑に行われ、医療の質を落とすことなく治療が出来ており、病院として良い運営が出来ております。これからも『患者様の不安を取り除くこと』の理念を大切に、地域の皆様に選ばれる病院として長く地域に貢献して参りたいと考えております。

トピックス

●「第32回シンポジウム」を開催します／(一財)医療関連サービス振興会

1. テーマ

コロナ禍に学ぶ21世紀の医療と医療関連サービス

2. 開催主旨及び目的

2020年以降、新型コロナウイルス感染症によって社会は一変しました。パンデミックはまさに、社会保障費の問題をはじめ、慢性的な人材不足、医療提供体制の地域格差など、医療における様々な問題を浮き彫りにしました。

そのような中、今後の医療提供体制の改革が急がれ、政府は感染症対策の司令塔組織の設立を決め、厚生労働省においては、第8次医療計画に盛り込む医師確保計画、外来医療計画、地域医療構想等に対する検討を進めており、また、次の感染症危機に備えた感染症法等の改正を予定しています。

本シンポジウムでは、それらの政策によりこれからの医療現場がどのように変わるのか考えるとともに、コロナ禍の病院経営解析やエッセンシャルワーカーの取組みも紹介しながら、コロナ禍に学ぶ21世紀の医療と医療関連サービスを展望します。

3. 日時

令和5年2月3日(金) 13:00~16:30

4. 会場

サントリーホール(ブルーローズ)／東京都港区赤坂1-13-1

5. 定員

会場参加者数100名(オンライン配信もします)

※詳細は12月目途に当振興会HPに掲載します(<https://ikss.net/>)。

今後のスケジュール等

(新型コロナウイルス感染症の影響から、月例セミナー開催につきましては状況判断のうえ当会ホームページに掲載させていただきます)

<令和4年11月>

11日(金) 令和4年度11月 月例セミナー

テーマ：ポストコロナと次期医療計画に向けた病院経営のポイント
～データとともに考える病院機能～

講師：石川 ベンジャミン光一 氏
(国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
医療マネジメント学科 教授
大学院 医学研究科 教授)

会場：日比谷コンベンションホール

<令和4年12月>

16日(金) 令和4年度12月 月例セミナー

テーマ：中小企業を取り巻くリスクと必要な対応策

講師：多田 彩乃 氏
(MS&ADインターリスク総研株式会社
リスクマネジメント第三部
統合リスクマネジメントグループ)

会場：日比谷コンベンションホール

<令和5年1月>

13日(金) 衛生検査所調査指導中央委員会

審議事項：第85回認定基本審査

16日(月) 医療用ガス供給設備の保守点検部会

審議事項：第84回認定審査

18日(水) 寝具類洗濯部会

審議事項：第96回認定審査

滅菌消毒部会

審議事項：第89回認定審査(院外滅菌消毒)

第48回認定審査(院内滅菌消毒)

19日(木) 患者等給食部会

審議事項：第90回認定審査(院内調理患者等給食)

第6回認定審査(院外調理患者等給食)

20日(金) 在宅酸素供給装置の保守点検部会

審議事項：第98回認定審査

23日(月) 院内清掃部会

審議事項：第86回認定審査

衛生検査所専門部会

審議事項：第85回認定審査

27日(金) 評価認定制度委員会

審議事項：医療関連サービスマーク認定に係る審査

31日(火) 令和4年度1月 月例セミナー

テーマ：「史上最大の求人難」

～人材確保の現状と有効な対策～

講師：濱 利明 氏(社会保険労務士)

会場：日比谷コンベンションホール

ハートマークだより

発行：一般財団法人医療関連サービス振興会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第二フナトビル3F

TEL：03-3238-1861 FAX：03-3238-1865

URL：<https://ikss.net/>